



# みなみ 園だより 1がっ

令和5年1月4日  
目黒区立南保育園  
南保育園園長

あけましておめでとうございます。

ご家族で穏やかなお正月を過ごされたことと思います。今年も保護者の皆様とともに子どもたちが健やかに成長できることを願っています。笑顔あふれる1年となりますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

12月に幼児クラスではにこにこ参観日があり、子どもたちは日頃から慣れ親しんでいる大好きなお話の世界を劇ごっこにして保護者の方に観ていただきました。自分で読んだり、保育士に読んでもらいながらお話の世界を想像し、入り込み、「なりきる」「演じる」楽しさを感じることができたようです。発表会の後には他の役にも挑戦しました。自分の役以外のセリフや動きを保育士が教えなくてもすっかり覚えていたのには驚きました。これからも絵本に触れながら、素敵なお話の世界を子どもたちと一緒に想像したいと思います。

5歳児クラスの子もたちは今けん玉遊びに夢中になっています。あまりにも見事なので「すごい。先生はそんなにできたことない」と驚きながら褒めると、遠くでやっていた子もすぐ側までやってきて見事なけん玉さばきを誇らしげに披露してくれます。「先生もできるようにになりたいな」と言うと、「練習しないとね」とけん玉を用意してくれ1からわかりやすく教えてくれました。今月はけん玉やこま回し、羽根つきなどの正月遊びを思う存分楽しみたいと思います。



## 今月の行事予定

- 新年お祝い会
- 0歳児健診
- 4歳児クラス懇談会
- 3歳児クラス懇談会
- \*身体計測、避難訓練…全園児



## エピソード

子どもが保育士に向かい両手をグーにして合わせ「トントントン…トントントン…」と言っていたので、手遊び『ひげじいさん』を歌うと不服そうな表情に。

「こっちかな」と『糸まき』を歌うと“それぞれ”と満足気です。

(0歳児)



## 「とんぼ組のしめ縄作り」

5歳児クラスの子もたちは自分たちが稲刈りをした藁を使って、初めて「しめ縄作り」を行いました。まず湿らせた藁を水の入ったペットボトルで叩き藁を柔らかくします。なかなか藁が柔らかくならない所には、用務が‘高速叩きの技’を披露し手伝うと子どもたちから「すご〜い」と歓声があがりました。子どもたちも‘高速叩きの技’を真似して叩くと、段々と藁が柔らかくなっていきます。「いいかんじだね」「やわらかくなったね」と子どもたち同士声を掛け合って喜んでいました。次に2人で藁を押さえる役とねじる役にわかれてねじった二本の藁を結っていきます。ねじった藁をしっかり握っていたつもりでも藁が戻ってしまうのでとても難しいのですが、子どもたちは真剣な表情で取り組み、出来上がったしめ縄を見て目を輝かせていました。

用務として一緒に様々な作業に参加し、友達と協力してしめ縄作りをやり遂げる子どもたちの成長を間近で実感することができ、貴重な体験になりました。(用務)





クラスで親しんでいる絵本や読んでいる子どもの様子を紹介します。

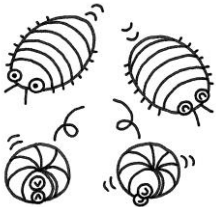
### てんとうむし組 1歳児クラス



『おつきさまこんばんは』の絵本が大好きで、保育士に「おつきさまよんで」と嬉しそうに本を持ってきます。出てくる言葉を覚えてしまうほど、何度も繰り返し見て楽しんでいます。月が雲に隠れて見えなくなりそうな場面では、「おつきさまいないねー」とつぶやいたり、「泣いてる」「えーん」と読んでいる文章を真似して言ったりします。ある日、部屋の窓の外を見ていた子が月に気づき、「おつきさまいた」と嬉しそうに保育士に言いました。それを聞いていた他の子どもたちも窓の外を見て「あ、おつきさまだ」「いなくなっちゃった」「またいた」と雲に見え隠れする月を指しながら盛り上がっていました。テラスで遊んでいる時にも月が見えることに気づいた子どもたちは探すことに夢中で、見つけると「こんばんは」と絵本に出てくる言葉を言ったり、嬉しそうに指をさして教えてくれたりします。これからも、好きな絵本を保育士と一緒に見たり自分でページをめくってみたりと、繰り返し楽しめるようにしていきます。

### みつばち組 2歳児クラス

秋から散歩に出かけ、公園で見つけたダンゴムシをクラスの虫かごに入れて世話をし始めたことがきっかけで、『ダンゴムシみつけたよ』の絵本が大好きになりました。虫かごの中をのぞき込みながら隣に絵本を広げ、「おなじだね」と保育士や友達と一緒に見比べることを楽しんでいます。保育士が読み進めていくと、子どもたちは「どこにいるの?」「はっば?(の下)」とじっと目を凝らして探し始めます。「いた」と指さし思わず絵本のダンゴムシを指で触れようとしたり、実際に虫かごの中をのぞき「ここにもいるのかな」と確認してみたりと、胸をドキドキわくわくさせながら見えています。また、ダンゴムシの他にも「クモこわい」「アリ食べられちゃう」と、登場してくる様々な虫に興味や関心が広がってきています。ページをめくるたび、実際に探索を楽しんでいるかのようです。これからも、身近な生活と結び付いた色々な絵本と一緒に親しみ楽しんでいきたいと思っています。



### でんでんむし組 3歳児クラス

4月から、絵本棚には季節にあった絵本や虫の図鑑が並んでいます。新しく絵本を入れ替えるときすぐに気づいて手に取り、「読んで」と保育士の所に持ってきます。その中でも、『14ひきのねずみ』シリーズが大好きです。初めは14ひきのねずみの家族を探したり、お話の内容を繰り返し楽しんだりしていましたが、散歩先で虫や花を見つけたりクラスで虫を飼育したりするうちに、絵本の中の細かな描写にも目が向くようになりました。春『ピクニック』では「アゲハちょうがいるよ。お散歩でもみつけたよね」と話したり、夏『とんぼいけ』では「これはなにトンボかな。こっちは赤とんぼだよ」と変化に気づいたり、秋『あきまつり』では「こおろぎがいるよ」と絵本の中で虫探しも楽しんだりしてました。また、「かくれてるねずみさんどこだ」「このこ怪我してる。どこで怪我しちゃったんだろう」と、ねずみそれぞれの表情を読み取ったり、何度もページを戻してその場面を見つけたりするなど、文章には出てこないねずみにも注目して見えています。

これから、冬のシリーズも実体験に結びつけながら発見を楽しんでいきたいと思っています。

